



つるがしましな
鶴ヶ島市内から ありがとう の声が届いています！



あいちゃんと希望くん
 ©中央共同募金会

「赤い羽根募金・・・耳にするけど、どのように使われているの？」と思われる方も多いと思います。
鶴ヶ島市内での使い道や、実際に共同募金の助成を受け活動をしている団体からの「ありがとう」の声をご紹介します。



ふれあい・いきいきサロンのために（※助成団体：55団体）
 高齢者や障がいのある方、子育て世代などが身近な場所に集い、食事や健康体操、おしゃべりなどを通じて楽しい仲間作りを行っています。

「へちま倶楽部」(ありがとうメッセージ ※一部抜粋 富士見地域)
 コロナ禍のなか、富士見市民センターにおいてアウトドアサロンの位置づけで、外周り整備、花苗植え、草取り、芝刈りをはじめました。収穫物で自然素材のへちまたわしをつくり、利用しています。助成金は熱中症対策の飲み物に使わせていただきました。ありがとうございました。



小・中・高校生の福祉の学習のために（※助成団体：14校）
 福祉体験講座や高齢者等との交流など福祉教育・ボランティア学習を実施しています。

杉下小学校（ありがとうメッセージ）
 助成金は、交流をした福祉団体や個人様へ謝礼金や、発表に使用する消耗品、体験学習で使う道具の購入に使用させていただきました。子ども達は交流を通して、福祉について興味・関心をもつことができ、自分たちの町には、どんな不便な場所があるのか、身の周りの不便さに気づき、未来の鶴ヶ島のまちづくりについて考えることができました。子どもたちのために、ありがとうございました。



盲導犬利用者の方と交流をはかる様子（協力：鶴ヶ島視覚障がい者の会「アイネット」）



ボードゲームくらぶ（ありがとうメッセージ ※一部抜粋 松ヶ丘地域）
 参加者は同じ生活圏内に暮らすほぼ初対面の方で、年齢差やバックグラウンドの違いもあり普通であれば知り合ったりすることも無い同士が、テーブルを囲み子供でも出来るようなゲームに夢中になって時間を過ごすのはとても新鮮で忘れていた楽しさを思い出させてくれるものとなっています。近所付き合いが希薄になったと言われる今日ですが、このような活動がもっと広がることによって地域の明るい未来が想像できるような気がします。活動資金として共同募金を使わせてもらい大変感謝しています。

えんぴつとおにぎり（上新田地域）
 頂いた助成金は、小中学生のための居場所作りで、おにぎり作りなどの材料や工作に使う道具の購入に使わせてもらいました。
 今年度は毎月一回開催でき、参加する子どもたちは楽しみにしています。ありがとうございました。



埼玉県内の社会福祉施設・団体のために（※助成団体：県内272施設・団体）
 県全体の福祉の向上のため、身近な社会福祉施設や団体等に助成しています。（広域配分）

あたご保育園（ありがとうメッセージ ※一部抜粋）
 外壁の塗装・補修・防水工事を行ったことにより、園児の安全性はもちろん、保護者の皆様も安心して子どもを預けられるとの声をいただきました。また、入所を希望する皆さまにも園舎が綺麗だから入所を希望したいとの声をいただきました。園舎が綺麗になったことで、園児を見つめる皆さんが自然と笑顔になり、園児や保護者の皆様もとても喜んでくれました。本当にありがとうございました。



社会福祉法人愛宕会 あたご保育園
 （外壁改修工事 令和4年度実施）

災害時にボランティア等を支援するために
 共同募金会は、毎年の募金実績額の3%以内の額を大規模災害に備え、「災害等準備金」として積み立てています。

令和元年7月に発生した、台風第19号による県内被災地に設置されたボランティアセンターの運営費用や身近な社会福祉施設や団体等に助成されました。

